

令和8年度 浪速区小学生の学力向上支援事業公開型プロポーザルにかかる事前質問とその回答

質問事項	項番	質問内容	回答
個別指導形式について	1	指導員1名につき受講者何名の配置を予定されているかご教示ください。	指導員1名につき、受講者6名程度の配置を想定しております。
課題と主要ポイントについて	2	これまで浪速区において実施された小学生向け学力向上支援事業における主な課題、ならびに本事業において事業者に特に期待されている点があればご教示ください。	学習習慣の定着に課題があると認識しております。 また、本事業においては、参加した児童が家庭環境等によらず自己肯定感や学習意欲を高められるような児童一人ひとりに合った支援方法を実施していただくことを期待しております。
ステップアップ枠について	3	募集要項にある「ステップアップ枠」について区として期待する具体的な想定はありますか。	ステップアップ枠について、具体的な想定はありませんが、より高度な学習をしたいという児童にも対応いただけるように事業実施していただきたいと思っております。
機材貸し出しについて	4	オンライン学習において、端末や通信環境が整わない受講者に対し、Wi-Fi機器やタブレット等を事業者側で準備する場合、当該実費については受講料(月額10,000円)とは別に徴収する仕様で差し支えないかご教示ください。	ご認識のとおりで差し支えありません。
非通塾型オンライン学習について	5	通塾型受講生の実施と並行して授業を実施しても可能か、それとも別曜日・別時間での実施を想定されてますでしょうか。ご教示ください	通塾型受講生の実施と並行して授業を実施していただくことも可能ですが、指導員1名につき、受講者6名程度の配置となるように実施してください。
事業実施場所等について	6	各会場で学習に使用する資材などを保管させて頂ける場所をお借りできるか、ご教示ください	学習に使用する資材などの保管については、協定締結後に、本市担当者、当該施設管理者、事業者と調整の上、決定いたします。
募集用チラシ部数について	7	受講者募集用チラシの配布対象となる学校ごとの生徒数(現小4から現中2)をご教示ください	本事業の受講者募集用チラシの配布対象は、現小学4年生及び5年生を想定しており、各小学校の対象児童数(令和7年5月1日現在)は下記のとおりです。 栄小学校:54人 難波元町小学校:82人 大国小学校:36人 敷津小学校:17人 塩草立葉小学校:178人 浪速小学校:171人